

令和3年度第2回環境審議会 市民からの意見・質問一覧

〈意見・質問〉基本方針1 循環型社会の更なる推進と地球温暖化対策の推進

No.	項目	市民からのご意見・ご質問	回答	委員からのご意見・ご質問	委員からのご意見等に対する回答
1	基本施策1 循環型社会の推進 (P14・15)	「フードバンク入間にリサイクルの日に参加いただきフードドライブ及びPRを行う予定でしたがコロナの影響によりリサイクルの日が中止になった回が多くあり、令和2年度中に4回に実施となりました。」 →一方で、P14の10行目では、「令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全て中止となりました。」と書かれてあり、P18の指標番号3では「リサイクルプラザの活用(リサイクルの日開催)」の令和2年度実績値は「全て中止※未着手」と書かれています。わかりにくいと思います。	「リサイクルの日は全て中止となりましたが、フードドライブは、単独で4回実施しました。」とわかりやすく記載するようにします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明が入っているので、文脈でつかめると思います。あくまでもリサイクルの日のフードドライブの開催をさしていると思います。(篠塚委員)</li> <li>・回答案にリサイクルの日は全て中止となったが、フードドライブは単独で4回実施とありますが、リサイクルの日は中止せざるを得なかったが、フードドライブは実施出来た理由が記載されていると、なお理解し易いと思います。(相葉委員)</li> <li>・リサイクルの日、フードドライブの市民の周知はどれくらいなのでしょう(私は初めて知りました)。リサイクルの日は全て中止となりましたが、コロナ感染拡大が長引く中、何かしら非対面で改めてリサイクルについて学ぶ講座など行うと良いと思います。1人1人の気持ちで環境保護、改善は</li> </ul>	<p>リサイクルの日の周知につきましては、市報や各公共施設へチラシの配布しております。また、ごみアプリへ掲載し周知しております。</p> <p>昨年度、ごみ減量をテーマとした30分番組(入間3R番組～ごみ減量～)を制作し、入間ケーブルテレビにて1ヶ月間放映しました。また、現在、同番組を入間市公式YouTubeチャンネルにて配信中です。</p> <p>今後も、ごみ減量・再資源化に関する内容をテーマとし配信してまいります。</p>

				変わり学習する必要もあると思います。(中島委員)	
--	--	--	--	--------------------------	--

〈意見・質問〉基本方針2 豊かな自然環境の保全

No.	項目	ご意見・ご質問	回答	委員からのご意見・ご質問	委員からのご意見等に対する回答
2	基本施策2 水環境の保全 (P34)	指標番号31 下段の説明 「※第三次入間市環境基本計画策定時と数値が変わっています。」 →現況値(平成30年度)が15件(第三次入間市環境基本計画)から19件(令和3年度版いるましの環境)が増加し、目標値が5件/年(第三次入間市環境基本計画)から2件/年(令和3年度版いるましの環境)に減少している。数値が変わった説明が必要と思う。	数値が変わった点につきましては、近年の状況を踏まえ、今回の目標値等の見直しを行ったことによります。 お寄せいただいたご意見を来年度以降の施策展開の参考とさせていただきます。	・数値が変わった点は、近年の状況を踏まえと書かれていますが、その状況の説明があると、なお理解し易いと思います。 (相葉委員) ・5件から2件に変更した理由を明確に回答すべきです。この意見の何を今後の参考にするのですか?(手島委員)	現況地(平成30年度)については、集計上の誤りがあった為修正いたしました。 目標値については、近年の実績が、平成29年度1件、平成30年度1件、令和元年度1件、令和2年度0件と少なくなっており、予算額も削減されている現況を踏まえ、見直しを行ったものです。
3	基本施策3 畑の保全・活用 (P37)	指標番号36の評価☆(目標達成について) →実績値の「7カ月」は現況値の9カ月にも目標値9カ月にも達成していないので、「☆目標達成」の評価は理解できない。	現況値等を設定した当時は、給食提供月数を11カ月として考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業に伴い、給食提供月数が9カ月になり、そのうち7カ月で地場農産物を使用することができたため、「☆目標達成」と致しました。	・11ヶ月の内9ヶ月の目標は9ヶ月/11ヶ月=81.8%、7ヶ月/9ヶ月=77.8%の達成率で、「比率」においても「月数」でも目標に達成していない。 唯一胸を張って目標に達成していると言えるのは、地場産業	目標値の給食提供月数の設定にあたりましては、1年のうち夏休み期間(1カ月)を除くとともに、地場農作物の使用が困難な2カ月を除いた9カ月としております。 令和2年度については、新型

			<p>今回お寄せいただいたご意見は、来年度以降の施策展開の参考とさせていただきます。</p>	<p>物を給食に提供しなかった月数が2ヶ月ということだけではないでしょうか。市の回答の再検討が必要と思います。(森委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(給食にて)地場農産物の提供ができた。それこそが素晴らしいと思います。 11カ月の予定が9カ月しか給食がなく、そのうち7カ月提供したということは、ほぼ目標に達したといえると思います。(篠塚委員)</li> <li>・給食については、実績月数/提供月数と表すこととし、目標値を8割としたらいかがでしょうか。但し、そうすると、<math>9/11=0.82</math>、<math>7/9=0.78</math>で、目標達成とはなりません。(斎藤委員)</li> <li>・備考欄に「令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、給食提供月数を11か月から9か月に変更した」を入れた方が分かりやすいと思います。平成30年度現況値と目標値が同じの指標のものは、目標達成率に加算されていくものに使われるのであれば、指</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業(4月及び5月)に伴い、給食が提供できなかった月があったため、実績値が7カ月となってしまいました。</p> <p>本来であれば、実績値7カ月では目標値の9カ月を達成できていないことから、評価を下げるところです。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業がなければ、地場農作物を使用できたと判断したことから「☆目標達成」といたしました。</p> <p>今後は、今回のご意見を参考に適切な評価となるよう評価方法を見直します。</p>
--	--	--	--	---	---

				<p>標化する意味が薄れるのでは、 と思います。(新関委員)</p> <p>・何を参考にするのですか？(手島委員)</p>	
4	<p>基本施策4 生物多様性の確保 (P38)</p>	<p>アライグマ、ハクビシン等について「狭山猟友会へ外来種(アライグマ)出没情報の提供、現地確認を行いました。また、市民に箱わなを貸し出し、アライグマの捕獲を行いました。県実施のアライグマ捕獲従事者養成研修会実施の広報誌掲載への検討を行いました。」</p> <p>→検討を行った結果がどのような結論になったのかも書き足してください。</p>	<p>結果については、広報いるまにて報告しました。</p>	<p>・何月号なのか明記した方がいいと思います。(川名委員)</p> <p>・意見を出した方への回答になっていません。結果をあわせて説明すべきだと思います。(篠塚委員)</p> <p>・捕獲数は48頭/年、評価は ↓ 停滞 となっているが、捕獲事業者養成研修会を行うことで、捕獲数を増やすことが指標になっていると読み取れます。この表から、養成研修会を行ったけれど捕獲数が減少し、進捗が停滞した、という読み取りでよいかどうか分かりにくいところから質問・意見が出やすいのだろう、と思います。(新関委員)</p> <p>・回答に、結果については「広報いるま」にて報告とありますが、簡単に結果を記載し、詳細は「広報いるま」を参照下さいと書いた方が、親切で丁寧だと思います。(相葉委員)</p> <p>・広報いるまの何月号で報告したかの記載がほしい。(手島委員)</p>	<p>県実施のアライグマ捕獲従事者養成研修会実施については、令和2年7月1日号の広報いるまに掲載いたしました。</p>

				<p>・アライグマ、ハクビシン、タヌキ、キツネなど近年多く見掛けるようになり、農作物の被害を多く聞くようになりました。情報提供として、それぞれの特徴、出没時期、時間、目撃場所など注意の書面提供を検討してみてもいかがでしょうか？</p> <p>上記の生物が路上ではねられ死んでいるのを見かけます。この場合、連絡は警察？市役所？対処方法を伝える必要もあると思います。車が避けながら走行していますので危ないところを見掛けます（中島委員）</p>	
5	<p>基本施策4 生物多様性の確保 (P39)</p>	<p>指標番号 39 外来種(コクチバス)の捕獲 令和2年度 74尾/年 →第三次入間市環境基本計画の P82 では、「雌1匹当たりの抱卵数は5,000~14,000個であり、体サイズの大きな雌ほど多くの卵を産む」と明記されている。つまり、雌の捕獲が重要です。来年度以降は、捕獲数の内、雌の捕獲数もわかるようにしてほしい。</p>	<p>お寄せいただいたご意見を今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p>	<p>・コクチバスの抱卵数、体サイズの大きな雌ほど多くの卵を産む。 その方の意見に賛成です。見過ごしてしまいました。警鐘することで、どうしていくことがよいか考えられます。(篠塚委員)</p> <p>・「お寄せいただいた意見を---」で、済ませていますが、相手の意見にもう少し踏み込んで答えた方が良いと思います。(斎藤委員)</p> <p>・コクチバスの捕獲の雄・雌の別のデータがあれば、記載すべき</p>	<p>コクチバスの駆除については、入間市漁業組合により、網で捕獲または産卵床を潰す取組を行っております。 また、コクチバスは雄が卵及び仔魚の保護を行う習性があるため、雌に限らず捕獲することが重要であると考えています。</p>

				<p>と思います。「今後の施策展開」などの曖昧な表現は、データを出せない理由があるのかもしれないと却って疑問を抱く結果となると思います。(相葉委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲した場所はどこでしょうか？捕獲したものについては、どのようにしているのでしょうか？(中島委員)</li> <li>・この意見を何の参考にするのですか？(手島委員)</li> </ul>	
--	--	--	--	---	--

〈意見・質問〉基本方針3 住みやすさが実感できる都市環境の構築

No.	項目	ご意見・ご質問	回答	委員からのご意見・ご質問	委員からのご意見等に対する回答
6	基本施策1 (P42)	<p>「市内に残存する段丘崖斜面林の候補地について検討しました。また、令和3年度以降も引き続き検討を行う予定です。」</p> <p>→入間市駅北口土地区画整理事業によって16号線の斜面林が大きく縮小しました。</p> <p>今後の入間市駅北口土地区画整理事業を推進するに当たっては、縮小された面積以上に緑を増やすように関係団体に働きか</p>	<p>区画整理事業によって産み出される街区公園や緑地帯の公共施設等における緑化推進を検討していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の多い入間市=住んでよかった入間市につながるのではないのでしょうか。(篠塚委員)</li> <li>・指標42では「維持保全を検討」が目標となっており、「維持保全を検討」したから目標達成となっていては、確かに質問が出るとと思います。指標41は目標が現状維持であるにもかかわらず2年間で10%近くも減少しています。それには何か解説が</li> </ul>	<p>指標の目標値設定及び目標値に対する評価方法については、第三次環境基本計画見直しの際に検討いたします。</p>

		けていただきたい。		<p>必要と思います。また、現状維持が難しい指標(指標4 1)と現状維持が難しくない指標(指標3 6)が区別できるような指標化、評価が行われるとよいです。(新関委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植える植物の検討も必要だと思います。CO<sub>2</sub>削減に期待。モリンガなど定植。モリンガはサプリメントとしても効果があるので何か意義のある公園も良いと思います。(中島委員)</li> </ul>	
7	基本施策2 (P44・45)	<p>「(公共交通の)利用促進策として、例年、子ども達を対象に「バスの乗り方教室」を開催しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催することが出来ませんでした。令和3年度以降も引き続き、利便性の高い公共交通を目指すため、利用促進策を検討する予定です。」</p> <p>→コミュニティーバスの停留所名を利用者増に貢献できる名前に変更するように検討していただきたい。例えば、「武蔵中学校西門」という停留所名よりも『シルバー人材センター前』に変更した方がコミュニティーバスの</p>	お寄せいただいたご意見を今後の施策展開の参考とさせていただきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同感です。バス停が親しみのある名前がついていれば、史跡の多い入間市の”あるある”を知っていただけ、観光にもつながっていくと思います。(篠塚委員)</li> <li>・利用者目線に立ってほしいという要望で、おそらくコミュニティーバスを利用しない職員には気づかない事なのではないでしょうか。(斎藤委員)</li> <li>・「お寄せいただいた意見を---」で、済ませています、相手の意見にもう少し踏み込んで答えた方が良いと思います。(斎藤委員)</li> <li>・何を参考にするのですか？(手</li> </ul>	バス停の名称については、地元の市議や区長のご意見をいただき、決定したものです。

		<p>利用者層に適合していると考えられる。</p> <p>また、「南中野公会堂」よりも「ハタヤの稲荷東」などの観光振興にも重きを置く停留所名を検討し、利便性を高めて利用者を増やす努力を願いたい。</p>		<p>島委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢別の利用人数を調べてそれに応じた名前の検討が必要と思います。今後、小・中学校の合併問題もあります。通学にバスということも考えられますので、ルートを含め検討すると良いと思います。(中島委員)</li> </ul>	
8	基本施策3 (P47)	<p>「入間市文化協会から郷土芸能連合会に対して、155,800 円の助成金を交付しました。(中略) 令和3年度以降も入間市文化協会から郷土芸能連合会に155,800 円の助成金を交付する予定です。」</p> <p>→助成金を交付したのは入間市文化協会であって、入間市では無いと思います。即ち、「交付しました」「交付する予定です」は表現としては適切なのでしょうか。</p>	<p>報告書では、助成金を交付した状況を客観的に表現しました。</p> <p>今後は、市民の方がわかりやすい表現とするよう留意致します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入間市文化協会は・・・交付しました。」または「入間市文化協会から・・・交付されました」が適切な表現ではないでしょうか。</li> <li>「令和3年度以降も・・・155,800円の助成金を」という説明は、令和4年度の予算も未定な時期に、予定とは言っても同額の助成金額をこの団体だけ明確に示すのはいかがなものでしょうか。(森委員)</li> <li>・「交付」という言葉は通常、役所や機関が金銭を供与する場合に使用することを踏まえれば、「給付」や「支給」とした方が良いかも知れません。(相葉委員)</li> </ul>	<p>令和4年度以降、報告書を作成する際は、市民の方に誤解を与えないよう、「入間市文化協会は郷土芸能連合会に対し、155,800円の助成金を給付しました。」等の表現へ改めるよう検討します。</p> <p>また、今後の助成金額の表記方法については、検討します。</p>

〈意見・質問〉基本方針4 安心して健康に暮らせる生活環境の保全

No.	項目	ご意見・ご質問	回答	委員からのご意見・ご質問	委員からのご意見等に対する回答
9	基本施策1 (P50)	きれいな空気、きれいな水 →今年9月に、自治会から「樹木消毒作業中止のお知らせ」が届きました。市役所環境課から「農薬のスケジュール散布は止めるべき」と指摘され、コロナウイルスの緊急事態宣言中でもあり、作業中止すると記されていました。環境基本計画には計画項目がありませんが、昨年はどうだったのでしょうか、また「緊急事態宣言」が無くても、引き続き指導していくことを望みます。	お寄せいただいたご意見を今後の施策展開の参考とさせていただきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お寄せいただいた意見は～との回答はよくないと思います。よりの確な回答を期待します。上記の回答案が多すぎます。(篠塚委員)</li> <li>・「昨年はどうだったのでしょうか」という質問に答えていません。(手島委員)</li> <li>・農薬散布は止めるべきとありますが、昨年はチャドクガの発生が多く、入間市施設又は、昭和記念公園においても多発生しました。場合によっては人体に被害となりアナフィラキシーショックになる可能性もあります。人の集まる公園などは特に注意して何か施策を考える必要と思います。(中島委員)</li> </ul>	個別の団体の事業に関することであるため、担当部署（令和3年度までは環境課衛生担当、令和4年度からは生活環境課）が指導しています。

				<p>・「お寄せいただいた意見を---」 で、済ませていますが、相手の意見にもう少し踏み込んで答えた方が良いと思います。(斎藤委員)</p>	
--	--	--	--	--	--

〈意見・質問〉第四次入間市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

No.	項目	ご意見・ご質問	回答	委員からのご意見・ご質問	委員からのご意見等に対する回答
10	温室効果ガスの削減方針 (P72)	<p>「ごみの減量(リデュース)、再使用、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)に取り組み、廃棄物の減量に努めます。また、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、プラスチックの廃棄量が増えました。今後は、入間市一般廃棄物処理基本計画に基づきごみ減量やプラスチック類の分別について一層力を入れていきます。」 →上記の記載があるが、増えたゴミの種類などを調査し、分析し、減らすための方策を構築することが大切だと思う。増えたゴミ減量の方法については、コロナ対策の一環として市民に協力を依頼することが必要だ</p>	<p>新型コロナウイルスの流行は、長期にわたり市民の生活に影響を及ぼす可能性があります。 そのため、新たな生活様式を踏まえた対策の検討も行っており、今回お寄せいただいたご意見を今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p>	<p>・プラスチックゴミに関しては、15ページに令和4年度の改訂があるので、その事を告知してもよいのでは。(斎藤委員) ・同感です。どういう種類で、どのように分別していけばよいか。 誰にでもわかりやすい(見える化)より確かな対策につながっていくのではないのでしょうか。(篠塚委員) ・意見の通りだと思います。No.1と同じような事になりますが、1人1人の意識が必要ですのでゴミを減らす、分別する、リサイクルの仕組みなどがどのような効果をもたらすのかという基本的なところを伝えて</p>	<p>ごみチャンネルの改訂版を令和4年度末に配布し、その中で、ごみの分別を分かりやすく紹介します。また、ごみの分別方法や出し方を各自治会への地区説明会でも説明してまいります。小学生へは、社会科見学でクリーンセンターに来た際に丁寧に説明し、家族内でも共有してもらうよう呼び掛けていきます。</p>

		<p>と思う。例えば、「広報入間号外」の中にコロナ禍で増えているごみの減量を訴える記事を入れるなどの取り組みが必要だと思う。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響により、感染拡大を防ぐ新しい生活様式の影響で、食品のテイクアウト、デリバリー等の廃プラスチック容器が増えるなどしています。このことについては多くの自治体で問題視され、今後もこの傾向は続く懸念されています。</p> <p>ウイズ・コロナの市民生活を踏まえた新たな対策が必要で、今までの延長線上の対策で対処できるのでしょうか。</p>		<p>いく事が大切だと思います。小学生に学習していただく機会を多くつくる。(中島委員)</p>	
--	--	--	--	---	--

#### 全体を通して

- ・回答案文を拝見すると、全般的に「紋切り型」の文章が多く、決まりきった表現であり、読者である市民に寄り添う、丁寧で暖かな印象を持ってもらえるような記載が、より望ましいと思います。パブリックコメントに対する回答は、基本計画報告書本文よりも目につく媒体ですので、質問者に納得して頂くことはもちろん、市民側の目線で出来れば注意深く記載された方が良いように思います。(相葉委員)
  - ・『市民からの意見』を拝見すると、報告書をよく読まれていると感心します。
- 一方、『市の回答案』ですが、「お寄せいただいたご意見を今後の施策展開の参考とさせていただきます。」という回答が過半数あり、どうい

ふうにとりだけ参考としようとしているかが分かりません。意見をだしていただいた市民が納得するような回答をお願いします。難しいことは難しいとか、積極的に参考するとかと回答されてはいかがですか。(手島委員)

**【市の回答】**

今後、報告書等についてのご意見・ご質問をいただいた際には、質問された方及び市民へご理解いただける回答を行うよう心がけます。